

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化や、終末期に向けた方針の共有と、対応について昨年、家族の意向は確認したが、当施設でターミナルを希望されるご家族もあり、職員の対応の不安がある。	各自の研修、施設での研修等を実施し、知識の向上を図る。	同系列のケアセンターの理事長に、ターミナルケアについて研修をして頂き、研修結果は全職員が把握出来るように周知する。主治医の先生にも状況を常に報告していく。	6ヶ月
2	1	○理念の共有と実践 全ての職員が「稲武の家」の理念を把握共有し、実践に繋げる事が出来ているか。	全職員が、ホームの理念を把握し、利用者様の立場に立った支援が出来るようになる。	玄関には掲示がしてあるが、事務所内にも掲示し、確認し理解していく。現場の疑問点・問題点についてカンファ等で、話し合い、活かせる様に心がけていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。